

平成28年/2月8日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院総合周産期医療センターにヘリコプター搬送された 妊婦さんとお子様へ

和歌山県立医科大学小児科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身及びお子様の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

周産期ドクターヘリ搬送に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学小児科学講座 講師 熊谷 健

3. 研究の目的

周産期ドクターヘリ搬送は妊婦さんの妊娠期間延長に貢献したり、新生児の予後改善に有用であると考えられています。その有用性を後ろ向きに抽出し、今後の周産期ドクターヘリ搬送の在り方を見直すことを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

平成15年1月1日から平成27年12月31日までの期間中に、当院総合周産期母子医療センターにドクターヘリで搬送入院された妊婦さんとその胎児、および新生児

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、

搬送されたのが妊婦さんである場合: 妊婦情報(搬送時妊娠週数、搬送理由、搬送元、妊婦さんと出生した児の生存退院の有無)と新生児情報(出生した児の在胎週数、出生体重、搬送から出生までの期間)

搬送されたのが新生児である場合: 新生児情報(在胎週数、出生体重、搬送理由、生存退院の有無)に関する情報です。

(3) 方法

妊娠延長できた期間、搬送理由、生存退院について変化や改善がみられているか統計的手法を用いて調べます。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、ご自身およびお子様を特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身およびお子様の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、ご自身およびお子様の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学小児科学講座 担当医師 熊谷 健

TEL:073-447-2300 FAX:073-444-9055

E-mail:tkumagai@wakayama-med.ac.jp